

ふくしまファンクラブ

会報
Vol.27



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成 25 年 (2013 年) 12 月 6 日発行

題字：白石光史 (書道家・へつり庵)



猪苗代スキー場

詳細は [雪マジふくしま](#) GO



新野地温泉 (福島市)

白銀に染まる福島 温泉とウィンタースポーツを漫喫

冬の訪れ

平年より早い10月17日、日本百名山に数えられる吾妻山での初冠雪が報じられて以降、紅葉シーズンを終えた福島県内は、徐々に白銀の世界へと様変わりしてきています。また、この季節になると猪苗代湖をはじめ各地に白鳥が飛来し、可愛い冬の使者が冬の訪れを告げます。

福島県での冬の楽しみといえば、身体も心もほっこりと温めてくれる温泉と、極上の雪質を誇るスキー場でのウィンタースポーツです。

魅力ある福島の温泉

福島県は言わずと知れた温泉地であり、137箇所と全国でもら番目に多い数です。泉質も豊富で、単純温泉から硫酸塩泉などその時の気分に合わせて選ぶことができます。また、どこか懐かしい雰囲気漂う温泉街から山の中の一軒宿など、それぞれ特徴ある

温泉地が多いのも、全国の温泉愛好家を引き付ける魅力の一つです。今年の冬は、福島県内の湯めぐりで自分好みの温泉地を探してみるのも楽しいことでしょう。

雪マジ!ふくしま

また、福島県には20を超えるスキー場があり、バリエーション豊富なゲレンデでウィンタースポーツを楽しむことができます。雪質はさらさらのパウダースノー。初心者から上級者まで思う存分の滑りを満喫することができます。

福島県では県内21箇所のスキー場において、今年も20歳から22歳の若者の平日リフト1日券を無料とする「雪マジ!ふくしま」を実施します。昨シーズンも多くの若者が訪れ、白銀のゲレンデでウィンタースポーツを楽しみました。

是非皆さんも今年の冬は「温泉」と「ウィンタースポーツ」で福島県の自然の恵みを満喫してみたいかがでしょうか。

福島 の 酒蔵を巡る

第三回・会津若松市

平成二十四年度全国新酒鑑評会で都道府県別最多の二十六銘柄が金賞を受賞した福島県。日本一の酒をつくり出す県内の蔵元の魅力を、造り手のことばから探る。

連載第三回は、酒処「会津若松市」。大河ドラマの舞台としても脚光を浴びる町で、歴史ある蔵元がどのように進化してきたのか、鶴ヶ城からほど近い宮泉銘醸代表取締役 宮森義弘社長に伺った。

造り手の若返りによる 意識改革

「近くにあるハイテクプラザ会津若松技術支援センター^(※)での技術公開、それに合わせての蔵元、造り手の世代交代により、一般の方が口にする日本酒に対する造り方がより丁寧になったと感じています。これまで培われてきた技術に加え、1つ1つの作業に丁寧

な日本酒をもたらしている。」
現状に満足せず、より良い日本酒を追求する姿勢、会津の酒が長く愛されている証明とも言える。

全国からの応援を糧に

「作業を細かく、温度管理をしつかりする。小さな積み重ねですが、一切手を抜かない。」「米の洗いや、蒸し方、麹の分析、細部まで気を使って丁寧に造られている。」「丁寧」と繰り返し語られる宮森社長の言葉から、造り手の情熱が強く感じられた。

「作業を細かく、温度管理をしつかりする。小さな積み重ねですが、一切手を抜かない。」「米の洗いや、蒸し方、麹の分析、細部まで気を使って丁寧に造られている。」「丁寧」と繰り返し語られる宮森社長の言葉から、造り手の情熱が強く感じられた。

古き良き伝統の継承

一方、これまで培われてきた取組に対して敬意を払う。「組合では勉強会を開催し、幅広い知識を伝えてきた。それが、蔵の個性を生み、会津に様々

会津の酒が注目されていることについて、「震災では、多方面から大きな支援をいただき、多くの方々から会津の酒を応援して頂きました。年々技術を向上させ、常に旨い酒、会津清酒を提供することが、恩返しであると考えています。」と宮森社長。

感謝の気持ちを持ちながら真摯に向き合う会津の酒造り、つくり上げられた珠玉の日本酒はじっくり味わっていただきたい逸品だ。



プレゼント

宮泉銘醸から「大吟醸^{しやらく}しずくどり」を3名様にプレゼント!
(詳しくは8ページに)



宮泉銘醸

会津若松市東栄町 8-7
電話 0242-27-0031

※ハイテクプラザ会津若松技術支援センターでは、醸造等の地場産業に関する研究、技術指導を行っている。

会津若松市 のご紹介

会津若松
PRキャラクター
「会津侍 若松つつん」



現在、会津若松市では、サムライシティとしてイメージに合致するキャラクター「会津侍 若松つつん」を主人公としたショート・ムービーを制作し、全国のイオンシネマ74劇場において映画本編上映前にCM上映することによる観光PRに取り組みしております。会津侍のスピリットを持った「若松つつん」と「咲子さん」との2人のユーモラスな掛け合いによって、会津若松の魅力を紹介していきますので、ぜひ皆さんもご覧ください。



Facebookで、
いいねして!!
twitterで、
フォローして!!

「若松つつん(わかまつん)」とは...

会津若松をこよなく愛するお侍さん。若松つつんの言葉を聞き取れる唯一の理解者「咲子さん」といつも一緒。見られて燃えるタイプ、形から入るタイプ、ほめられて伸びるタイプ。ゆるキャラと一緒にされるとキレがち。渋キャラと言われて気を良くしたことがある。

○ホームページ <http://www.aizusamurai.com/>

会津の酒蔵

酒造りは一に水、二に米、三に技（人の和）と云われるが、会津にはその全てが揃っている。盆地特有の厳しい冬と暑い夏が育てた渾身の日本酒を堪能いただきたい。

花春酒造株式会社



福島県会津若松市神指町大字
中四合字小見前 24-1
TEL0242-22-0022
FAX0242-37-2100

名倉山酒造株式会社



福島県会津若松市千石町 2-46
TEL0242-22-0844
FAX0242-24-6179

山口合名会社



福島県会津若松市相生町 7-17
TEL0242-25-0054
FAX0242-24-6533

合資会社辰泉酒造



福島県会津若松市上町 5-26
TEL0242-22-0504
FAX0242-22-0503

鶴乃江酒造株式会社



福島県会津若松市七日町 2-46
TEL0242-27-0139
FAX0242-27-0339

末廣酒造株式会社



福島県会津若松市日新町 12-38
TEL0242-54-7788
FAX0242-54-4548

石橋酒造場



福島県会津若松市御旗町 3-18
TEL0242-27-0313
FAX0242-27-0313

高橋庄作酒造店



福島県会津若松市門田町
一ノ堰 755
TEL0242-27-0108
FAX0242-27-0108

宮泉銘醸株式会社



福島県会津若松市東栄町 8-7
TEL0242-27-0031
FAX0242-27-0032

会津のお酒揃っています！
「会津鶴ヶ城会館」



鶴ヶ城天守閣
から徒歩1分。
会津の極上とふ
くしまの逸品が
集まる鶴ヶ城会
館には会津若松
市内酒蔵の酒が
ほとんど揃う
「地酒コーナー」

が設置されている。35歳、200点の
ラインナップを誇り、新島八重をモチー
フにした日本酒もほぼ網羅されている。
嬉しいことに365日いつでも試飲
可能。お客さんの評判も上々で、贈答
用に購入される方も多いとのこと。鶴ヶ
城やドラマ館観光の際にぜひお立ち寄
りいただきたい。



夜明け市場（いわき市）

明けない夜はない。「夜明け市場」と名付けられたいわき駅前の飲食店街。ここには震災後の福島を考える多士多彩な若者が集う。震災後、どのように市場が誕生したのかを探った。



問い合わせ
復興飲食店街「夜明け市場」
福島県いわき市平字白銀町2-10
TEL 0246-38-6586
HP <http://www.touhoku-yoake.jp/>

※各店舗の情報は、ホームページよりご確認ください。

震災を乗り越えて

「食べる47都道府県」をキャッチフレーズとして、東京で「株式会社47PLANNING」を立ち上げた鈴木賢治代表。移動販売車からスタートし初めての店舗が東京・高井戸で2011年4月にオープンを待つばかりとなった3月11日、東日本大震

災が発生。

いわき市出身の鈴木さんは、すぐさま移動販売車で被災地の支援をはじめたが、単発の支援ではなく、継続的な取組の必要性を感じ、「夜明け市場プロジェクト」をスタートさせる。

風評被害に苦しむ農産物の消費地として、また、福島から元気を発信する復興の拠点として、いわき駅前の一等地に新しい街づくりを目指した飲食店街がボランティアの力を借りてオープンした。2011年11月、震災から7ヶ月後のことであった。

U・イーターナー者が続々開業

提灯にやさしい明かりが灯る夜明け市場には現在11店舗が入居している。いわきの郷土料理の店、串焼き、鉄

板居酒屋、フルーツビールの店、盛岡じゃじゃ麺までそのラインナップは様々。Uターンして開業された方々ばかりでなく、Uターンで開業されたオーナーも。いわきの復興を盛り上げていこうと県外からも出店を募った鈴木代表の呼びかけが、被災地で何かしたいという思いと結びついて飲食店街が形作られてきた。

福島の復興に貢献したいという声を受けてきたスタッフは、今年の夏、市場内に起業家が活動する受けとして特定非営利法人TATKAGEをオープンさせた。企業に必要なノウハウの提供や資金調達支援など幅広いサポート体制で、いわき発の起業家を後押ししている。



鈴木代表



U・イターンした5名が夜明け市場で開業

ふくしま大交流フェアに
ライスバーガーがやってくる!!

鈴木代表は、福島県の郷土料理をじつ

くり堪能出来るアンテナレストラン「47ダイニング福島」を東京・高井戸で展開している。同店は、震災でオープンがずれ込んだが、2011年6月20日から福島県の食材をつかったメニューを提供してきた。

オープン当時は、心ない言葉を掛けられたこともあったそうだが、福島県出身者を中心に客層が広がり、福島の食材が安心・安全であることを伝えて

いる。東京国際フォーラムで12月23日に開催する「ふくしま大交流フェア」にこの47ダイニング福島が出演する。ふくしまの米を使った「一口サイズの

ライスバーガー」を初披露。女性が気軽に食べられる日本のライスバーガー目指した新商品で、限定発売。

「せっかくの良いものが、福島」というだけで敬遠される。まずは福島県の米の美味しさや安全性をしっかりと伝えることが福島の農産物の復活につながる」と鈴木代表。「夜明け市場」から全国、世界へ、鈴木代表の思いが実現する日も近い。



問い合わせ

47ダイニング福島
 東京都杉並区高井戸東3-27-10
 小張ビル1F
 TEL 03-5941-6050
 HP <http://47dining.jp/>
 営業時間/午後5時から午後11時30分まで
 定休日/不定休
 京王井の頭線「高井戸駅」から徒歩約4分



今、福島空港が面白い!!
毎月ウルトラヒーローがやってくる!!
ウルトラDAY開催中

あのウルトラヒーローが毎月、福島空港を訪れ、子供たちと交流をしています。

11月16日には、ウルトラマンジャックが空港の安全を守るためターミナルビル内を子供たちとともにパトロール。そしてこの日は、普段入ることができないエプロン(駐機場)の中も子供たちとともに特別にパトロールし、飛行機やトイイングカーの前で一緒に記念撮影をしました。



空港特別パトロールは、ウルトラマンジャックとエプロンを巡回

伝統工芸品「須賀川絵のぼり」の鍾馗様をまとったウルトラマンの絵付けを体験



またウルトラマンが、地元の伝統工芸品である「須賀川絵のぼり」鍾馗様の衣装をまとった小旗の絵付け体験コーナーやウルトラ36ヒーローパネルの展示コーナーが設置され、福島空港がウルトラの世界に包まれていました。

次回以降のウルトラDAYの予定は次の通り。乞うご期待!

- 平成25年 12月21日(土)
- 平成26年 1月18日(土)、2月11日(土)

ふくしま八重紀行

連載第三回 会津若松市

平成25年大河ドラマ八重の桜の舞台を巡るシリーズ。
第3回は1ヶ月にわたる籠城戦を繰り広げた会津戦争の舞台『会津若松市』を取り上げる。

市内には鶴ヶ城や日新館とともに、数多くの墓所や慰霊碑が建ち、それぞれに会津戦争を偲ばせる。これらをおすすめ墓所、慰霊碑をいくつか紹介する。

「大龍寺」^{だいりゅうじ} ④は、山本家の菩提寺で

ある。昭和6年に八重は「山本家の墓所」を建立。墓石には八重の書が用いられている。

「秀長寺」^{しゅうちやうじ} ⑥には会津城下の戦いにおいて、会津藩が唯一新政府軍に勝利した戦い、指揮をとった佐川官兵衛の歌碑と戦没者供養塔が並ぶ。



「阿弥陀寺」^{あみだじ} ③には、新選組三番隊組長斎藤一（後の藤田五郎）とその妻で八重の幼馴染み高木時尾が眠る藤田家の墓が建つ。

「善龍寺」^{ぜんりゅうじ} ⑩は特長的な竜宮門が出迎える。西郷頼母夫婦の墓、西郷邸で自決した「二十一人の墓」、戊辰戦争で散った233名の会津藩婦人名が記された「なよたけの碑」も建つ。ほど近い「建福寺」^{けんぷくじ} ⑨の管理地には長岡藩総督河井継之助の埋骨之遺跡が残る。

「天寧寺」^{てんねいじ} ⑧には、新撰組近藤勇局長の墓。土方歳三が、持っていた遺髪などを会津戦の折、仮埋葬したと言われている。



山本家之墓所 ④

供養塔（中央）、佐川官兵衛歌碑（右） ⑧



藤田家の墓 ③



西郷頼母夫妻の墓 ⑩



河井継之助埋骨之遺跡 ⑤



近藤勇墓地 ⑧



コラム

ハンサムウーマン 八重と会津博 大河ドラマ館

会津藩士の娘で会津出身の新島八重が主人公の平成25年大河ドラマ「八重の桜」のドラマ館が夏と秋の二度のリニューアルを経て現在、大好評開催中。会津戦争シーンで使用した衣装や小道具の他、京都編のドレスも登場。また古地図を使った無料観光案内アプリ「会津古今旅帳」をiOSとAndroid向けにリリース開始！まち歩きに新たな魅力を提供します。この冬はぜひ会津へ！！

○大河ドラマ館ホームページ
<http://yae-sakura.jp/dramakan>

○会津古今旅帳ホームページ
<http://yae-sakura.jp/app>

（無料携帯アプリ・古地図モードをONにすると、地図上に江戸時代の古地図が重ね合わせて表示されます。昔の地理を確認することが出来ます）

QRコードからアクセス▼

ハンサムウーマン 八重と会津博 大河ドラマ館

開催期間：2014年1月14日（火）まで
住所：福島県会津若松市城東町2番3号
休館日：無休
入館料：大人500円、小・中学生200円
お問い合わせ：TEL 0242-23-8228

アクセス：JR会津若松駅より車で10分、バス停鶴ヶ城三の丸口下車で徒歩3分



©会津若松市「八重の桜」プロジェクト協議会

プレゼント
大河ドラマ館入場券をペアで5組に。
(詳しくは8ページに)



新連載

福島へ 移り住む



震災後も移住地として人気が高い福島県。ここでは、どのような思いで福島へ移住をされたのか、福島県へ移住された方々のインタビューを通じてお伝えする。

連載第一回目は、震災後に沖縄県宮

古島から南相馬に移住し、介護士として働く与儀ひなみさんを紹介する。

東京で2年間看護補助の仕事をしてきた与儀さんは、以前から日本一周の夢を抱いていた。夢をかなえるため、仕事を辞めて旅をはじめたところ、東日本大震災が発生。そこで与儀さんは、日本一周の始まりとしてボランティアをしながら日本を北上するこ

とを決めた。

「はじめに訪れた郡山では、ボランティアが溢れていました。そのときに出会った市民団体の方から、南相馬市の介護の現場で人手が足りない実情を聞いたことが、南相馬で介護の仕事に携わるきっかけです。もともとレクリエーションの企画などを通して、心のケアに関わる仕事に携わりたいと考えていたので、南相馬に移住することにしました。」と与儀さんは当時の思いを話された。

移住の不安

しかし、福島県は地震や津波被害に加えて、福島第一原子力発電所の事故もある。移住する際に、不安はなかったのか。

「はじめはテレビの情報だけだった



仕事風景

ので不安を感じました。ですが実際にそこに住んでいる人が困っているのに、住んでない人が怖がっているのは、本当の意味での手助けにならないと思います。実際に住んでみると、地元の人々が放射線に注意して独自に勉強をしていることが分かりました。今では、周りの人に教えてもらいながら、放射線に関する知識を勉強しています。」

南相馬での生活

「近所の方から米やにんじんをいただいたり、商店街のおじさんからおつとめ品を安くしていただくことがあるんです。」と話される与儀さん。地元の方から信頼を得ることがうかがえる。

もちろん移住後の苦労もあった。その1つが宮古島とは全く異なる方言。仕事柄、年配の方を相手にすることが多く、はじめは戸惑うことが多かったという。「例えば、「こわい」。この辺りでは「つかれた」という意味ですが、私の態度が怖いのかと勘違いしてしまいました。」と与儀さんは当時を振り返る。

「もともと山、田んぼのある生活に憧れていました。そういった環境に恵まれた南相馬に住むことができて幸せです。」と話す与儀さん。今年の秋には職場の方と紅葉を見に行くなど、福島での生活を満喫されている。

南相馬市ふるさと回帰支援センター

移住希望者の相談や、田舎暮らしや農作業を体験できる農家民宿の紹介を行っています。



お問い合わせ

場 所：道の駅 南相馬 観光交流館内
電 話：0244-24-5555
電子メール：iju@msouma-furusato.jp

入場
無料

みんな笑顔で、「福」満開!ふくしま大交流フェア

日時 平成25年12月23日(祝・月) 11:00~17:00

場所 東京国際フォーラム 展示ホール/地上広場 (有楽町駅から徒歩1分)

ふくしまの元気と魅力を発信する首都圏イベント。今年で7回目の開催となります。前回は、約1万5千人が入場し大好評でした。今回は、横浜 DeNAベイスターズの中畑清監督をスペシャルゲストとして迎え、佐藤雄平福島県知事とトークショーをくりひろげます。乞うご期待!

ステージでは、復興のシンボル“フラガール”の特別公演や、福島伝統の祭りの再現など多彩なイベントをお楽しみください。

今年はサブステージを設け、福島のご当地キャラを紹介します。



会場には福島県から100以上のブースが出演!ふくしまの食をPRするグルメコーナーでは、喜多方ラーメン、なみえ焼そば、福島円盤餃子、あわまんじゅうなど全国でも有名なお当地グルメが大集合。ウルトラマンコーナーでは、ウルトラマンの砂絵が体験できます(先着順)。木工細工、ミニ書道教室など多彩な技に触れる体験コーナーも。「ふくしま大交流フェア」にぜひお出かけいただき、福島の「今」を体感ください!



福島円盤餃子



ふくしま八重隊も登場!

メール会員
募集!

ファンクラブでは、福島の情報メルマガ方式により毎月お知らせするメール会員を募集しています。

【移行登録方法】

氏名と会員番号とメールアドレスをご連絡ください。
FAX 024-521-7888 TEL 024-521-7287
又は「ふくしまファンクラブ」で検索!

※メール会員へは封書による会報は原則発送しません

ふくしまデスティネーションキャンペーン開催

国内最大級の観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーンを平成27年4月~6月に開催します。来年春にはプレDCを開催。全県挙げて皆様のお越しをお待ちしておりますので、ぜひ、春の福島へおいでください!



ふくしまの
うまいもん・
すてきなもん
プレゼント

ご応募いただいた方の中から抽選でプレゼント!

- ①宮泉銘醸から「大吟醸 寫樂 しずくどり」を3名様に(2~3ページ)
※未成年者のお酒へのご応募はご遠慮ください。
- ②大河ドラマ館入場券をペアで5組に(6ページ)
※2014年1月14日(火)までの入場となりますのでご注意ください。

応募方法 電子メール又は、はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、ご希望のプレゼント、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へご応募ください。

応募締切 12月20日(金)必着

あて先 ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

【電子メール】 f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp

【はがき】〒960-8670 (住所記載不要) 福島県庁観光交流課

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。



①



②

福島を訪れる方へ

東京電力の原発事故による環境放射能測定値については、福島県災害対策本部のホームページ(<http://www.pref.fukushima.jp/>)で確認することができます。